



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2011
6月10日号126
VOL.

発行所 社団法人 福島県放射線技師会

〒960-8003 福島市森合字蒲原16-7 TEL/FAX 024(559)1043

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

東日本大震災に思う



副会長 遊 佐 烈

3月11日14時46分に三陸沖を震源とする国内観測史上最大のM9.0の地震が発生した。津波や火災で多数の死傷者がでて、行方不明者も合わせると二万八千人を超えと言う。岩手・宮城両県では放射線技師も犠牲となられ、同じ仲間として心よりご冥福をお祈りしたい。未だ岩手・宮城・福島の3県では多くの住民が避難所暮らしや仮設住宅での生活を強いられている。更に福島県は原発事故が重なり、行方不明者捜索にすら入れない所もあり正確な死者数は判らない。自宅を流された仲間、病院が倒壊してしまい仕事場を失った仲間、避難勧告により引っ越しせざるをえなかった仲間。悪夢としか言いようがないが、原発に関しては人災だとも言われている。津波の高さは「想定外」だったとしているが、原子力発電施設の安全性は国も認めてきたし、何かある毎に安全性を声高らかに述べてきたので、その「想定外」の一言で片づけられたら、30km圏外でありながら計画的避難区域に指定され、長年暮らしてきた地から離れなければならない方々を思うと心が非常に痛む。連日、東電の報告を聞いてきたが、後になってボロボロ真実が明るみ出てきている。メルトダウンは早い段階で把握していたようだがそれを公表してこなかったし、低レベル汚染水の海への放出にしても実際は高い放射能の塊となり沿岸部を移動する事態となり、海水で拡散するとの予想を裏切り、漁業への影響も出ているがこれも「想定外」の事とし幕を引こうとするのだろうか。海は日本だけのものではなく全世界へと繋がっている。全世界の人々が東北の被災者を心配して励ましてくれているのに、隣国へは事後承諾では日本の信用は地に落ちると心配するのは私だけだろうか。東電が政府に対しても真実の報告を行っているのか疑心暗鬼にならざるを得ない。

しかしそんな中、大震災の直後から日本放射線技師会が福島県に技師を派遣し、避難された住民への放射能汚染のスクリーニングを実施して来た。全国から福島県に多くの技師が派遣されて来たが、その方々のお世話を引き受けて下さった福島県放射線技師会の鈴木会長の御苦勞は大変なものがあつた。車の手配や県との交渉、その他事務的な会議等も全て行って頂いた。自施設の対応で忙しくお手伝いも出来なかったが、医大病院も緊急のみの対応となり人員の余裕が出来た時のみ、避難所へのスクリーニング派遣はする事が出来た。今回、放射線技師会の中澤会長の決断が早かったのと、TVを利用した事で国民に放射線技師の存在とその価値をアピール出来たし、県の担当者も我々放射線技師の存在と市民・県民への公益性を十分に理解して頂けたに違いない。しかしこの間、今回のような事故が起こらないとなかなか我々の職業を理解して貰えなかった事は非常に残念である。事故からもう2カ月が過ぎたが医大病院の除染棟は、未だに臨戦態勢にある。原子炉の終息までは何があるか分からないし、その時期さえもはっきりしない。浜通りの病院施設が以前のように機能するまでの道のりは遠いと思われる。しかし全国の技師仲間の手助けを借りたのだから、我々も精一杯東北の復興のために努力しましょう。そして避難された住民の方々の笑顔が戻るように一步一步前に進みましょう。

特集「郡山市総合体育館における 緊急被ばく医療活動の記録」

活動期間：2011年3月14日～3月31日

(財)星総合病院 放射線科 放射線管理士 佐久間守雄

はじめに

東日本大震災にて被災された皆様へ、謹んで地震災害のお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

私こと佐久間守雄は、濱端孝彦技師・斎藤康雄技師（坪井病院）、井戸沼俊英技師・遠藤潤技師（星総合病院）と共に、2011年3月14日から31日まで、郡山市総合体育館にて緊急被ばく医療活動（スクリーニング活動）を行った。地震発生から活動を開始するまでも含め、報告する。

また、報告の中には測定値もあるが、空間線量率を測定する場合には、NaI (TI) シンチレーションカウンタや電離箱サーベイメータが望ましいが、配置されていない期間もあったため、GM計数管による測定をしていた。それもあわせて表記するのでご了承ください。

尚、表記についてはGM計数管による測定値については（以下cpm (GM)）、NaI (TI) シンチレーションカウンタによる測定値については（以下Sv/h (シン)）、電離箱サーベイメータによる測定値については、（以下Sv/h (電離)）とする。



2011年3月11日(金) 地震発生

- ・14時46分ごろ、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の地震発生。

2011年3月12日(土) 福島第一原発トラブル発生

- ・福島第一原発では「パント」によるガス抜き、その後水素爆発が起こる。
- ・時々刻々と状況が悪化していった。
- ・原子力発電所は何重もの壁があり放射性物質の流出は無いはずでは？緊急時炉心冷却システム(ECCS)は働かないの？SPEEDIによる予測も公表されなく、不安だけが募る。

2011年3月13日(日) 鈴木憲二会長、斎藤康雄副会長と連絡

- ・斎藤副会長より、夜勤中に郡山市総合体育館におけるスクリーニング活動の依頼あり、当直明けてから郡山総合体育館へ向かう事とする。
- ・笹川克博技師（太田西ノ内病院）、菅野修一技師（田村市都路診療所）は二本松男女共生センターへ向かう事となった。

2011年3月14日(月) 郡山市総合体育館で緊急被ばく医療に参加

- ・測定従事者（活動時間）は、県技師会 佐久間（10:00 - 18:00）が担当した。
- ・各地点のBG値；屋外100cpm (GM) であった。
- ・星北斗理事長より佐久間の緊急被ばく医療への参加許可がおりる。
- ・郡山市総合体育館では当初、屋外にテントを張り測定を行っていた。

- ・スクリーニング活動時における我々の防護具は、タイベックススーツ・使い捨てキャップ・ゴーグル・マスク・2重の手袋・靴袋であり、個人線量計の配布は無かった。
 - ・表面汚染検査には、GM計数管式サーベイメータを使用した。
 - ・GM 5 台体制で、DMAT・郡山市保健所・会津保健所・消防署員・県技師会でスクリーニング活動を行った。
 - ・測定は、手の表裏・全身の前後面・足裏を行った。
 - ・スクリーニングレベルは13,000cpm以上、100,000cpm未満の数値が検出された場合には、脱衣や部分的なふき取り除染とし、100,000（以下10万）cpmで全身除染となった。平成23年3月14日からの運用開始となった。このレベルに設定した理由は、平成23年3月13日、文部科学省から本県に派遣された被ばく医療の専門家（広島大学 谷川教授、福井大学 寺沢教授等）及び放射線医学総合研究所研究員の意見、さらに、福島県立医大の取り扱いを踏まえてのことであった。
 - ・スクリーニングレベル以上の衣類はビニール袋に入れ、持ち帰ってもらうこととした。
 - ・郡山市総合体育館では除染も可能であり、除染作業は、消防署員と自衛隊が行った。
 - ・測定希望者は双葉方面からの避難民が多かった。
 - ・当初、スクリーニング実施証明書は無く、口頭で「問題ないですよ」と対応していた。中には測定風景を携帯カメラで撮影し、証明(?)とする方もいた。
 - ・郡山市総合体育館（測定所）の現場責任者はおらず、消防がその代行作業をしているようであった。結局、3月31日まで責任者不在のままであった。
 - ・郡山総合体育館は24時間体制の測定所であったが、夜になり測定者が少なくなった事と、長期戦である事を考え、18時で帰宅した。
 - ・福島県災害対策本部発表、県内で本日スクリーニングした人数は3,038名。そのうち10万cpm以上の値を示した人数は2名であった。2名の方は脱衣等をし、再計測したところ、基準値以下に減少し、健康に影響を及ぼす事例は見られなかったとのことであった。
- 2011年3月15日(火) 途切れない測定希望者
- ・測定従事者（活動時間）は、県技師会 佐久間（8:30 - 19:00）、濱端技師（17:00 - 22:00）が担当した。
 - ・各地点のBG値；屋外9:00頃150cpm (GM)、13:40頃3,000cpm (GM) へ上昇した。
 - ・GM 5 (3) 台体制でDMAT・郡山市保健所・会津保健所・消防署員・県技師会で屋外テントにて測定するも、測定希望者数が前日よりさらに多くなり休憩は全く無かった。
 - ・市内在住者はBG程度であるが、南相馬地域等からの避難者は明らかに高く、測定器を向けるだけで在住地域を言い当てられるような状況であったのが非常に印象に残った。
 - ・13時40分ごろ、突然BGが3,000cpm程度に上昇、数時間経過してもBG値変わらず。
 - ・BG値高いため、郡山市災害対策本部へ安定ヨウ素剤配布の有無を確認するが、100mSvに達していないという理由のため配布せずとの判断。
 - ・夕方から雨が降り始めたため測定場所を総合体育館内へ移動。
 - ・測定希望者より待ち時間が長いというクレームがあったため、手の表裏、体の前面のみの簡易式サーベイ法にやむなく変更。
 - ・降雨によるものか不明だが、テント内で待っていた測

- 定希望者は除染必要無く、雨に濡れて待っていた測定希望者の中に脱衣のみ除染に該当する者が若干名いた。
- 夕方、濱端技師と交代。夜間は測定者数が少ないようであった。
- 本日より25日まで、日勤・夜勤の2交代制をとる事とした。
- 福島県災害対策本部発表、県内で本日スクリーニングした人数は11,540名。そのうち10万cpm以上の値を示した人数は5名であった。5名の方は脱衣等をし、再計測したところ、基準値以下に減少し、健康に影響を及ぼす事例は見られなかったとのことであった。

2011年3月16日(水) 測定希望者さらに増える

- 測定従事者名(活動時間)は、県技師会 佐久間(8:30-18:00)・濱端技師(17:00-22:00)が担当した。
- 各地点のBG値;屋内600cpm(GM)屋外入口前2,500cpm(GM)屋外入口前地面9,000cpm(GM)であった。
- GM5台体制で郡山市保健所、消防署員、県技師会で測定。測定者多数。
- 郡山市総合体育館(測定所)に原発に関する情報が全く入らないため、要望しラジオ配置する。
- 今後の測定者増加に対応するため、斎藤副会長より星総合根本道雄技師長経由で星総合病院から技師2名(井戸沼技師・遠藤技師)の派遣許可いただく。
- 市内在住者で、前日の雨の中1時間自転車移動した方が1,300cpmと珍しく高い。
- 続橋順市技師(星総合病院)ボランティアでスクリーニング活動に参加する。
- 浪江 川内 飯館1,500cpm位。いわきも前日よりカウント若干上昇気味。
- 夕方、濱端技師と交代する。
- このころ、郡山市保健所長発行の実施証明書が発行されるようになる。
- 福島県災害対策本部発表、県内で本日スクリーニングした人数は12,346名。そのうち10万cpm以上の値を示した人数は6名であった。6名の方は脱衣等により再計測したところ、基準値以下に減少し、健康に影響を及ぼす事例は見られなかったとのことであった。

2011年3月17日(木) 日放技派遣隊 第一次隊到着

- 測定従事者名(活動時間)は、日放技(9:00~19:00頃)、県技師会 佐久間(9:00-10:30 17:00-22:00)、井戸沼技師(9:00-10:30 17:00-21:00)、遠藤技師(9:00-10:30)が担当した。
- 各地点のBG値;屋内320cpm(GM)、屋外出口前4,300cpm(GM)、屋外入口前5,600cpm(GM)、屋外入口前地面17,000cpm(GM)であった。
- 郡山市総合体育館に日本放射線技師会 放射線サーベイヤー派遣隊 第一次隊(秋田県放射線技師会会長土佐さん、市立横手病院 藤原さん、公衆衛生学会 笹川さんなど)到着。郡山総合体育館と田村市総合体育館などで活動予定。
- 派遣隊の皆様が活動するのに支障を来さないよう、現在のスクリーニングマニュアル、福島県地図(市町村名、原発からの距離表示)、佐久間の連絡先を書いた書類を渡し、申し送りを行った。
- 9:00~19:00頃までの対応を日放技に依頼し、18:00~測定者が途切れるまでの対応を福島県放射線技師会で対応することとした。

- 測定方法を簡易式サーベイ法から通常法に戻して対応する。
- GM5台(以上)の体制で日本放射線技師会、郡山市保健所、県技師会で測定。
- このころ、救急車による搬送であっても、スクリーニングを実施してからでなければ病院が受け入れてもらえないという状況となる。
- このころ、スクリーニング証明書を持参していないと、避難所・宿泊施設・医療機関に入る事ができない状況になり、以前に測定した方が、証明書を得るため再度測定に来る事態となっている。
- 福島県災害対策本部発表、県内で本日スクリーニングした人数は14,198名。そのうち10万cpm以上の値を示した人数は43名であった。43名の方は脱衣等により再計測したところ、基準値以下に減少し、健康に影響を及ぼす事例は見られなかったとのことであった。

2011年3月18日(金) 日放技派遣第一次隊が日中の測定を担当する

- 測定従事者名(活動時間)は、日放技(9:00~19:00頃)、県技師会 遠藤技師・濱端技師(17:00-22:00)が担当した。
- GM5台(以上)の体制で日本放射線技師会、郡山市保健所、県技師会で測定した。
- 福島県災害対策本部発表、県内で本日スクリーニングした人数は14,336名。そのうち10万cpm以上の値を示した人数は39名であった。39名の方は脱衣等をし、再計測したところ、基準値以下に減少し、健康に影響を及ぼす事例は見られなかったとのことであった。

2011年3月19日(土) 日放技派遣第一次隊が日中の測定を担当する

- 測定従事者(活動時間)は、日放技(9:00~19:00頃)、県技師会 井戸沼技師・遠藤技師(17:00-22:00)が担当した。
- GM5台(以上)の体制で日本放射線技師会、郡山市保健所、県技師会で測定した。
- 福島県災害対策本部発表、県内で本日スクリーニングした人数は10,058名。そのうち10万cpm以上の値を示した人数は1名であった。1名の方は脱衣等をし、再計測したところ、基準値以下に減少し、健康に影響を及ぼす事例は見られなかったとのことであった。

2011年3月20日(日) 日放技派遣隊 第一次隊が任務終了

- 測定従事者(活動時間)は、日放技(9:00~19:00頃)、県技師会 濱端技師・佐久間(17:00-22:00)が担当した。
- GM5台(以上)の体制で日本放射線技師会、郡山市保健所、県技師会で測定した。
- 日本放射線技師会 放射線サーベイヤー派遣隊 第一次隊が任務終了となる。
- 福島県災害対策本部発表、県内で本日スクリーニングした人数は5,818名。そのうち10万cpm以上の値を示した人数は0名であった。

2011年3月21日(月) 放射性物質による水・食品の汚染が問題化

- 測定従事者(活動時間)は、県技師会 斎藤技師(9:00-17:00)・佐久間(9:00-21:00)が担当した。

- ・各地点のBG値；屋内0.6 μ Sv/h (シン)、250cpm (GM)、屋外出口前5.0 μ Sv/h (シン)、800cpm (GM)、屋外入口前3,200cpm (GM) 屋外入口前地面20,000cpm (GM) であった。
- ・弘前大学からの応援が来郡。総勢10名 (技師2名)。
- ・GM5台体制で弘前大学、郡山市保健所、県技師会で測定。
- ・測定希望者が減少傾向にあり、待機時間が徐々に多くなる。
- ・南相馬・小高から5日前に避難してきた着替え無し測定者1,510cpmであった。
- ・いわき日帰り者850cpm。
- ・市内在住者500cpmで降雨によるカウント上昇はほぼ見られない。
- ・水、野菜は、GMによる測定では表面のみであり、安全性が確認できないため、報道に従ってくださいという旨を説明してから測定した。
- ・磐梯熱海町の住民、昨日のTV報道を受け野菜持参、露地ものでそのまま1,000cpm、2～3枚剥がすと250cpmとなった「妊娠3ヶ月くらいの妊婦に食べさせて良いか」との質問に苦慮する。
- ・このころ、福島県内がガソリン不足となり、いつ開店するか分からないスタンド前に車の長い列が出来るという現象が起きる。走っている車の数も少なく、皆「エコ」運転をしているのが非常に印象に残った。
- ・このころ、福島県発行の「スクリーニング済証」が発行されるようになる。従来のものに比べ、氏名・年齢・生年月日・住所・スクリーニング実施月日など記入項目ができた。
- ・福島県災害対策本部発表、県内で本日スクリーニングした人数は2,777名。そのうち10万cpm以上の値を示した人数は1名であった。1名の方は脱衣等をし、再計測したところ、基準値以下に減少し、健康に影響を及ぼす事例は見られなかったとのことであった。

2011年3月22日(火) 全国の保健所職員による応援が多くなる

- ・測定従事者 (活動時間) は、県技師会 遠藤技師 (9:00 - 17:00)、濱端技師 (17:00 - 20:00) が担当した。
- ・各地点のBG値；屋内230cpm (GM)、屋外出口前740cpm (GM)、屋外入口前800cpm (GM)、屋外入口前地面18,000cpm (GM) であった。
- ・大阪府からの応援が来郡。
- ・GM5台体制で大阪府、郡山市保健所、県技師会で測定。
- ・郡山北警察署に緊急被ばく医療スクリーニング活動を目的とした「緊急通行車両確認証明書」の申請をして受理される。
- ・福島県災害対策本部発表、県内で本日スクリーニングした人数は4,491名。そのうち10万cpm以上の値を示した人数は1名であった。1名の方は脱衣等をし、再計測したところ、基準値以下に減少し、健康に影響を及ぼす事例は見られなかったとのことであった。

2011年3月23日(水) 夜間応援に電事連スタッフ加わる

- ・測定従事者 (活動時間) は、県技師会 佐久間 (9:00 - 18:00)、井戸沼技師 (17:00 - 18:00) が担当した。
- ・各地点のBG値；屋内230cpm (GM)、屋外出口前1,500cpm (GM)、屋外入口前3,200cpm (GM)、屋外入口前地面25,000cpm (GM)、水溜り10,000cpm (GM) であった。
- ・電離箱とNaI (TI) が揃ったため、同条件にて測定した結果を示す。《電離箱/NaI (TI) μ Sv/h》 屋内0.4

/0.9 μ Sv/h 屋外出口前3.5/7 μ Sv/h 屋外入口前5/10 μ Sv/hであった。

- ・GM5台 (以上) の体制で大阪府、電気事業連合会、郡山市保健所、県技師会で測定。
- ・20 - 30km一時帰宅者でも平常値。ただこのような方は、タイベックススーツなどをどこからか手に入れ、帰宅時に着用しているようである。その後、道路沿いに捨てていくため問題になり、新聞でも報道された。
- ・南相馬原町21km今日出てきた、450cpm。
- ・市内在住者ほとんど平常値。
- ・総合体育館近くの畑の野菜、ビニールかけている状態で200cpm露地物500cpm。
- ・豊田浄水場からの水道が基準を超える150Bqとの報道を受け、市内のミネラルウォーターが無くなる。
- ・地震 津波 原発 ガソリン不足 水・食品汚染と悪連鎖が続く。
- ・18時ごろ電気事業連合会のスタッフが来る、人数多く任せて帰宅。
- ・福島県災害対策本部発表、県内で本日スクリーニングした人数は4,000名。そのうち10万cpm以上の値を示した人数は0名であった。

2011年3月24日(木) 測定希望者数が少なく待機時間が多い日々

- ・測定従事者 (活動時間) は、県技師会 佐久間 (9:00 - 18:00) が担当した。
- ・各地点のBG値；屋内1 μ Sv/h (電離)、160cpm (GM) 屋外出口前6 μ Sv/h (電離)、1,500cpm (GM)。屋外入口前106 μ Sv/h (電離)、2,150cpm (GM)。屋外入口前地面19,800cpm (GM) 水溜り25,000cpm (GM) であった。
- ・愛媛県、大阪府からの応援が来郡。
- ・GM5台 (以上) の体制で愛媛県、大阪府、電気事業連合会、郡山市保健所、県技師会で測定。
- ・水道の水 (堀口浄水場) を使用したおにぎりをGMにて測定、BG程度。
- ・双葉地域に一時帰宅、屋外に40分くらいいた方で600cpm位。
- ・市内在住者ほとんど平常値。
- ・18時ごろ電気事業連合会の多勢の応援が来たので、任せて帰宅。
- ・郡山市総合体育館の測定者数330名位。
- ・福島県災害対策本部発表、県内で本日スクリーニングした人数は3,893名。そのうち10万cpm以上の値を示した人数は0名であった。

2011年3月25日(金) 夕方ごろ雪が降る

- ・測定従事者 (活動時間) は、県技師会 佐久間 (9:00 - 18:00) ・遠藤技師 (17:00 - 21:00) が担当した。
- ・各地点のBG値；屋内180cpm (GM)、屋外出口前1,220 (GM)、屋外入口前2,000cpm (GM)、屋外入口前地面26,000cpm (GM) であった。
- ・GM5台 (以上) の体制で熊本県、電気事業連合会、郡山市保健所、県技師会で測定。
- ・南相馬等に一時帰宅、身体550cpm、足裏1,500cpm。
- ・ここ最近の測定者は、一時帰宅者と市内在住者がほとんど。
- ・雪降るも市内在住者の測定値に変化無し。
- ・開成山近くの畑の野菜、露地物1,300cpm。

- ・郡山市総合体育館の測定者数270名位。
- ・福島県災害対策本部発表、県内で本日スクリーニングした人数は3,955名。そのうち10万cpm以上の値を示した人はいなかった。

2011年3月26日(土) 本日より福島県放射線技師会は日勤のみ対応

- ・測定従事者(活動時間)は、県技師会 佐久間(9:00 - 18:00)が担当した。
- ・各地点のBG値; 屋内120cpm (GM)、屋外出口前1,250cpm (GM)、屋外入口前1,700cpm (GM)、屋外入口前地面19,000cpm (GM)、水溜り8,000cpm (GM)であった。
- ・GM 5台(以上)の体制で熊本県、長崎県、電気事業連合会、郡山市保健所、県技師会で測定。
- ・いわき30km圏内今日出てきた方500cpm。
- ・今朝雪降るも測定値の明らかな変化無し。
- ・熊本県からの応援午前中のみ。
- ・長崎県からの応援午後のみ。
- ・市内在住者ほとんど平常値。
- ・露地物野菜ビニール覆い1200cpm、ビニール無し600cpm。
- ・測定希望者は、ほぼ全員が取り乱す事もなく静かに測定を受けている印象であった。
- ・このころ、夕方測定に来るのは警察官等が多い。
- ・郡山市総合体育館の測定者数270名位。
- ・福島県災害対策本部発表、県内で本日スクリーニングした人数は3,605名。そのうち10万cpm以上の値を示した人数は0名であった。

2011年3月27日(日)

- ・測定従事者(活動時間)は、県技師会 佐久間(9:00 - 18:00)が担当した。
- ・各地点のBG値; 屋内190cpm (GM)、屋外出口前1,300cpm (GM)、屋外入口前1,900cpm (GM)、屋外入口前地面21,500cpm (GM)、消防所持の空間線量計3.45 μ Sv/h(電離)であった。
- ・GM 5台(以上)の体制で県外応援、電気事業連合会、郡山市保健所、県技師会で測定。
- ・郡山市総合体育館の測定者数270名位。
- ・福島県災害対策本部発表、県内で本日スクリーニングした人数は3,571名。そのうち10万cpm以上の値を示した人数は1名であった。1名の方は脱衣等により再計測したところ、基準値以下に減少し、健康に影響を及ぼす事例は見られなかったとのことであった。

2011年3月28日(月) 24時間体制から9:00 - 24:00体制に変更

- ・測定従事者(活動時間)は、県技師会 井戸沼技師(9:00 - 18:00)が担当した。
- ・各地点のBG値; 屋内190cpm (GM)、屋外出口前1,000cpm (GM)、屋外入口前1,900cpm (GM)であった。
- ・GM 5台(以上)の体制で県外応援、電気事業連合会、郡山市保健所、県技師会で測定。
- ・朝・ター回ずつ福島市で災害対策本部会議がある。応援の方はそこに参加するため、9:00 - 10:30と17:00 - 18:00ごろは郡山市保健所と福島県放射線技師会に対応する形となったが、全体的に測定希望者が減少していたため、問題なく対応可能であった。

- ・18:00 - 24:00は電気事業連合会と郡山保健所が対応。
- ・引継ぎの後、18:00帰宅。
- ・福島県災害対策本部発表、県内で本日スクリーニングした人数は3,398名。そのうち10万cpm以上の値を示した人数は2名であった。2名の方は脱衣等により再計測したところ、基準値以下に減少し、健康に影響を及ぼす事例は見られなかったとのことであった。

2011年3月29日(火) 避難移動に伴い再度測定希望者増加

- ・測定従事者(活動時間)は、県技師会 佐久間(9:00 - 18:00)が担当した。
- ・各地点のBG値; 屋内180cpm (GM)、屋外出口前800cpm (GM)、屋外入口前1,300cpm (GM)、屋外入口前地面19,000cpm (GM)であった。
- ・長崎県の応援があった。
- ・GM 5台(以上)の体制で長崎県、電気事業連合会、郡山市保健所、県技師会で測定。
- ・浜通りから、中通りの県立郡山高校に避難していた方々が、会津へ避難する事になり、移動する前に(浜通りから避難時に一度測定を行い、問題無いのにも関わらず)再度測定と証明書発行を希望し、測定に来る。
- ・同様に自家用車も測定して欲しいと言う。長崎県応援隊より自家用車の測定は控えるようにとの伝達があったためお断りする。
- ・同じ県内なのにもかかわらず、人権侵害のようなものが起きているように感じた。
- ・福島県災害対策本部発表、県内で本日スクリーニングした人数は3,753名。そのうち10万cpm以上の値を示した人数は1名であった。1名の方は脱衣等により再計測したところ、基準値以下に減少し、健康に影響を及ぼす事例は見られなかったとのことであった。

2011年3月30日(水)

- ・測定従事者(活動時間)は、県技師会 遠藤技師(9:00 - 18:00)が担当した。
- ・各地点のBG値; 屋内180cpm (GM)、屋外出口前1,000cpm (GM)、屋外入口前1,000cpm (GM)、屋外入口前地面11,000cpm (GM)であった。
- ・GM 5台(以上)の体制で県外応援、電気事業連合会、郡山市保健所、県技師会で測定。
- ・福島県災害対策本部発表、県内で本日スクリーニングした人数は4,245名。そのうち10万cpm以上の値を示した人はいなかった。

2011年3月31日(木) 郡山市総合体育館での活動終了

- ・測定従事者(活動時間)は、県技師会 佐久間(9:00 - 18:00)が担当した。
- ・各地点のBG値; 屋内0.2 μ Sv/h(電離)、110cpm (GM)、屋外出口前2.9 μ Sv/h(電離)、800cpm (GM)、屋外入口前1,300cpm (GM)、屋外入口前地面16,000cpm (GM)であった。
- ・GM 5台(以上)の体制で県外応援、電気事業連合会、郡山市保健所、県技師会で測定。
- ・本日で福島県放射線技師会が郡山市総合体育館で行うスクリーニング活動を終了とする。
- ・鈴木会長、佐藤政春県南部長にも連絡し、受理される。
- ・借りているGMは郡山市保健所半澤さんに管理をお願いする事とした。

・福島県災害対策本部発表、県内で本日スクリーニングした人数は4,148名。そのうち10万cpm以上の値を示した人はいなかった。震災における自衛隊の活動には頭が下がる思いでした。

最後に

原発問題が収束せず、余震もある中、スクリーニング活動に来て頂いた、日本放射線技師会放射線サーベイヤー派遣隊、各県保健所の皆様へ感謝します。

地震により、渡り廊下が崩壊する等の大きな被害を受けたなか、緊急被ばく医療への参加を許可して頂いた、星北斗理事長・根本道雄技師長・診療放射線技師の皆様へ感謝します。

浪江焼きそばはおいしかったあ、また食べたい！夜ノ森の桜も良かったあ、また見たい！被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

平成23年 5月14日



測定を待つ避難者の列(郡山市総合体育館)



除染を行ったあと再測定する避難者



県農業試験場跡地に野営する自衛隊

東京電力福島第1原子力発電所事故経過と県内6方部の環境放射能測定結果(μSv/h)および福島第1原発からの方向、距離

月 日	時刻	事故の経過	福島県						
			北西約63km	西約58km	西南西約81km	西約98km	北約24km	南南西約43km	
2011年 3月11日(金)	14:46	三陸沖を震源とするM9.0の地震発生							
	14:46	東電福島第1原発運転中の1号機、2号機、3号機自動停止							
	15:15	茨城県沖を震源とするM7.4の地震発生							
	15:42	1号機、2号機、3号機全交流電源喪失を通報							
	16:29	三陸沖を震源とするM6.6の地震発生							
	16:36	1号機及び2号機非常用炉心冷却装置注水不能							
	20:50	福島県 半径2km圏内の住民に避難指示							
	21:23	政府 半径3km圏内の住民に避難、半径3kmから10km圏内の住民は屋内退避の指示							
2011年 3月12日(土)	1:20	1号機 格納容器圧力異常上昇							
	5:44	政府 半径10km圏内の拡大住民避難指示							
	10:17	1号機 ベント開始							
	15:36	1号機 水素爆発発生							
	16:17	敷地境界放射線量上昇							
	17:46	環境放射線測定結果	-	-	-	-	0.82	-	
2011年 3月13日(日)	18:25	政府 半径20km圏内の住民避難指示							
	21:00	環境放射線測定結果	-	-	-	-	20.00	-	
	5:10	3号機 非常用炉心冷却装置注水不能							
	8:41	3号機 ベント開始							
	9:00	環境放射線測定結果	0.05	-	0.06	0.05	4.02(9:15)	0.09	
	11:00	2号機 ベント開始							
	14:15	敷地境界放射線量上昇							
	16:00	環境放射線測定結果	0.05	0.05	0.06	0.06	3.7	0.07	
2011年 3月14日(月)	5:20	3号機 ベント開始							
	7:44	3号機 格納容器圧力異常上昇							
	10:00	環境放射線測定結果	0.05	0.06	0.06	0.08	3.20	0.09	
	11:01	3号機 水素爆発発生							
	18:00	環境放射線測定結果	0.05	0.06	0.06	0.06	2.85	0.08	
	22:50	2号機 格納容器圧力異常上昇							
	0:02	2号機 ベント開始							
	1:00	環境放射線測定結果	0.07	0.06	0.07	0.07	2.72	4.22	
2011年 3月15日(火)	2:00	環境放射線測定結果	0.08	0.06	0.06	0.06	2.69	18.04	
	4:00	環境放射線測定結果	0.09	0.06	0.05	0.07	2.62	23.72	
	6:10	2号機 爆発音							
	6:14	4号機 爆発音							
	8:00	環境放射線測定結果	0.07	0.06	0.06	0.07	2.54	2.77	
	8:34	3号機 白煙噴出							
	11:00	政府 半径20km以上30km圏内の住民に屋内退避指示							
	14:00	環境放射線測定結果	0.05	8.26(14:05)	4.21	0.11	2.41	1.51	
	16:00	環境放射線測定結果	1.72	3.81	5.02	0.14	2.43	1.39	
	18:00	環境放射線測定結果	23.18	3.54	6.70	1.02	2.46	1.32	
2011年 3月16日(水)	21:00	環境放射線測定結果	22.80	3.50	7.56	1.18	4.56	1.34	
	23:30	環境放射線測定結果	23.60	3.26	7.20	2.03	4.18	1.09	
	1:00	環境放射線測定結果	20.80	2.86	3.80	1.17	3.76	1.03	
	8:34	3号機 白煙噴出							
	9:00	環境放射線測定結果	19.80	2.90	4.10	0.63	4.00	1.54	
	11:01	3号機 原子炉建屋付近水素爆発							
	12:00	環境放射線測定結果	18.40	2.96	4.00	0.61	3.99	3.81	
	16:00	環境放射線測定結果	18.80	3.11	3.80	0.58	3.67	1.96	
	2011年 3月17日(木)	12:00	環境放射線測定結果	12.50	2.88	3.10	0.42	3.40	1.18
	2011年 3月18日(金)	12:00	環境放射線測定結果	11.10	2.54	2.70	0.42	2.80	1.06
2011年 3月19日(土)	12:00	環境放射線測定結果	10.20	2.14	2.40	0.39	3.76	0.91	
2011年 3月20日(日)	12:00	環境放射線測定結果	8.97	2.39	2.00	0.36	2.49	0.81	

※事故経過の記述については原子力災害対策本部発表資料から抜粋。環境放射線測定結果については、福島県ホームページの県内7方部環境放射能測定結果(暫定値)から抜粋。

平成23年度 福島県放射線技師会学術大会
演題募集要項

開催日 平成23年11月6日(日曜日)

会場 福島県立医科大学 講堂

演題申込

700字以内の抄録 県ホームページより(演題名、施設名、発表者名《共同研究者を含む》、目的、方法、結果《図表不可》)を下記大会事務へメール(1演題1メール)で申し込んでください。

申込期間 6月1日(水曜)～

申込締切 9月1日(木曜)

その他 予稿集は10月下旬には発送予定しております。

大会事務局 〒963-8558 郡山市2-5-20

太田西ノ内病院 放射線部内

実行委員長 新里昌一

電話 024(925)1188(内線)31265

e-mail fgakujutsu@yahoo.co.jp

訃報

名誉会員 根本壽男氏

平成23年3月逝去(行年76歳)

震災避難中であり、奥様に弔慰金花環代をおくり、本会の弔意を示しました。



編集後記

地震により原発事故が未曾有の災害になることを、2005年5月の衆議院予算委員会公聴会で強く警告していた地震学者 神戸大名誉教授の石橋克彦さんがいた。

「原発震災」を提唱し、原子力発電所で一番恐ろしいのが地震などの外的要因で、複合要因による故障で、多重防護システムが働かなくなり、最悪の場合炉心溶融が核暴走につながる。福島県民はまさにこの「原発震災」に今苦しんでいる。一刻も早い復旧を望む。(今野)